

船舶

- 自動操船化技術の向上や船主のニーズを喚起する新しいガス燃料船などの新船型の開発を推進
- 継続的な発注が見込まれる艦船や官公庁船、漁業取締船などの特殊船舶をターゲットに積極的な受注活動を展開
- 中国における造船事業合弁会社(江蘇揚子三井造船有限公司)の事業運営を開始
- 千葉工場における造船事業の終了(2021年3月末予定)を決定。リソースを再配置し収益性の向上を図る

Topics

音響測定艦「あき」命名・進水式挙行

2020年1月15日、三井E&S造船玉野艦船工場において、防衛省向け音響測定艦の命名・進水式が挙行され、海上自衛隊呉地方総監により「あき」と命名され、支綱切断が行われました。本艦は、同社にて建造した「ひびき」型音響測定艦の1番艦「ひびき」、2番艦「はりま」に続く3番艦となります。

本艦の特徴としては、サータス(SURTASS: 水上艦用曳航ソナー・システム)装置一式を装備し、海洋における情報収集を任務としており、その任務に最適なSWATH船(Small-Waterplane-Area Twin Hull: 小水線面積双胴船)型を採用していることが挙げられます。

今後、同社にて岸壁における艦装工事、海上試験を行い、2021年3月に引渡し予定となっています。



音響測定艦「あき」命名・進水式

三井E&S造船株式会社
<https://www.mes.co.jp/shipbuilding/>

海洋開発

- 三井E&S造船と共同で次世代FPSO用新造船体「MODEC NOAH」を開発、新規受注に向け営業開始
- ブラジル及びオーストラリア向けに3件のFPSOプロジェクトを受注
- メキシコ向けFPSO建造事業及びブラジルでのFPSO撤去作業で損失発生。損失の最小化に向け対応

Topics

5基のFPSOを受注*

三井海洋開発は、顧客である世界各国の石油会社から寄せられる大きな信頼と期待を背景に、5基のFPSOを受注するなど、業界におけるトップとしての地位を確立しつつあります。オーストラリア沖合パロッサ鉱区向けに同社が受注したのは、FPSO業界でも最大級のガスFPSO案件です。また、オーストラリアのエネルギー大手であるウッドサイドエナジー社より同社が受注したのは、西アフリカ・セネガル沖合初の海洋油田開発プロジェクト向けの記念すべきFPSOです。さらに、その他の3基は、ブラジル沖海洋開発向けのFPSO案件であり、ブラジル市場での同社の圧倒的存在感を印象付ける成果となりました。

※一部2020年度受注分を含みます。



三井海洋開発が受注したセネガル沖合サンゴマル鉱区向けFPSOの完成予想イラスト

三井海洋開発株式会社
<https://www.modec.com/jp/index.html>

機械

- NOx三次規制対応機関を含め、大型船用ディーゼル機関 200基(367万馬力)を生産
- SOx規制及び温室効果ガス削減に対応したガス燃料船用ディーゼル機関の設備投資を継続的に実施
- LSS事業(製品ライフサイクル対応型事業及び顧客問題解決型事業)の積極的な営業展開により事業拡大
- 東南アジアに加え、アフリカ、ヨーロッパ地域向けに複数の大型コンテナクレーンを受注

Topics

スウェーデン向け港湾荷役用クレーンを受注

三井E&Sマシナリーは、トルコ共和国のYilport Holding Inc.よりスウェーデン王国ガブレ港向けに三井パセコポーターナ(岸壁用ガントリークレーン)3基を受注しました。

ガブレ港はスウェーデン中央部に位置し、スウェーデンの良質な鋼材の輸出が盛んな港であり、今回の設備投資によりコンテナ荷役量の増加が望めるターミナルとなります。ガブレ港に納入するポーターナはコンテナ22列対応で、14,000個積コンテナ船に対応可能な大きさで、トラック位置検出機能を装備するとともに半自動荷役機能も搭載した最新鋭のクレーンとなります。

本受注は、同社にとってヨーロッパにおける初めてのポーターナの受注となり、この実績をもとにヨーロッパでの事業展開を拡大していくことを目指していきます。



スウェーデン王国ガブレ港

株式会社三井E&Sマシナリー
<https://www.mes.co.jp/machinery/>

エンジニアリング

- インドネシア向け火力発電所土木建築工事にて追加損失発生。外部専門家を交えてコストの見直しを実施、工事進行に向けて注力
- 三井E&S環境エンジニアリングへ環境関連事業を事業譲渡し、環境事業を当該会社へ集約
- 米国向け低密度ポリエチレンプラント(ルイジアナ州レイクチャールズ)の完成、引渡し
- 事業構造改革を推進し、子会社や事業の売却を実施。また、新規のバイオマス発電及び風力発電の建設事業からの撤退も決定

Topics

愛媛県西条市のひうちクリーンセンター竣工

三井E&S環境エンジニアリング(三井E&Sエンジニアリングの100%出資会社)が、愛媛県西条市より受注した西条市ひうちクリーンセンターが2020年3月に竣工しました。

本施設は、同市が運営するし尿処理施設の老朽化と処理量・質の変動に対応するため、新しい施設を整備したものであり、廃棄物を安全かつ衛生的に処理し、汚泥の助燃剤化により廃棄物を資源化するなど、環境にやさしい施設です。同社は先端技術とソリューションを通じて、地域社会と共生し、持続可能な社会の形成と環境保全に貢献します。



西条市ひうちクリーンセンター

三井E&S環境エンジニアリング株式会社
<https://www.mes.co.jp/mke/>